

東洋大学 板倉キャンパスシンポジウム

【同時開催】東洋大学 LiFE 研究会パネル展

2014.6.27 Fri
15:10~16:25 無料
東洋大学板倉キャンパス

交通案内図



電車で: 東武日光線「板倉東洋大前」駅 西口下車

徒歩10分

車で: 国道354号線を東(古河方面)へ

(館林インター方面から)「小保呂交差点」を左折

- 大宮から 44分
- 春日部から 26分
- 北千住から 48分
- 栃木から 15分
- 大宮→栗橋→板倉東洋大前
- 春日部→板倉東洋大前
- 北千住→板倉東洋大前
- 栃木→板倉東洋大前

東洋大学 板倉事務部板倉事務課

参加希望の方は住所・氏名・電話番号を明記の上
FAX・メールでお申し込みください。

〒374-0193 群馬県邑楽郡板倉町泉野1-1-1
TEL: 0276-82-9105
FAX: 0276-82-9801
E-Mail: mlitakura@toyo.jp
<http://www.toyo.ac.jp/>

お車でお越しの際は、
学生駐車場をご利用ください

申込先

●会場: 1102教室 ●

15:10~15:15

挨拶

食環境科学部 学部長
林 清

15:15~15:50

講演 「健康とミネラル」

食環境科学部 健康栄養学科 教授
西牟田 守

15:50~16:25

講演 「邪魔な海藻を健康素材に… 産官学コラボによる食品開発」

食環境科学部 食環境科学科 准教授
太田 昌子

【同時開催】

12:00~

東洋大学LiFE研究会パネル展

●会場: 1102教室 ●

【同時開催】東洋大学 『未来を拓くトップセミナー』

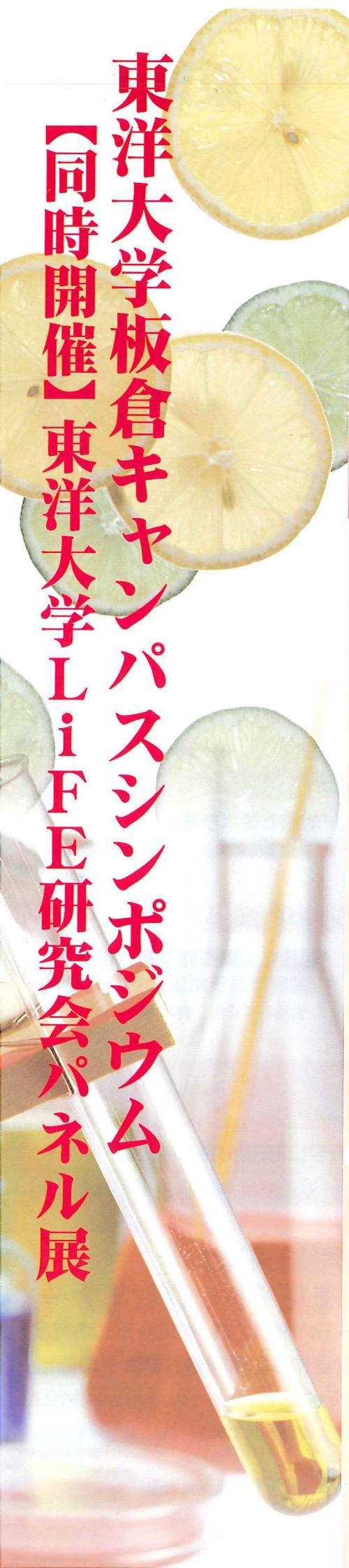
13:20~14:50 (定員: 400~500名程度)

『社員食堂を作った体脂肪計タニタの経営』

谷田 大輔 氏 (株式会社タニタ前代表取締役社長)

※本セミナーは学生向けですが、一般公聴も可能です
(学生優先)

東洋大学板倉キャンパスシンポジウム 同時開催】東洋大学LiFE研究会パネル展



ご挨拶

食環境科学部 学部長 林 清

平成25年4月 これまでの生命科学部食環境科学科を基礎とした食環境科学科と、管理栄養士を養成する健康栄養学科の2学科を擁する食環境科学部が新設され、板倉キャンパスは生命科学部、食環境科学部の2学部体制となりました。食環境科学部は、食品の機能科学や栄養・健康科学を総合的に探究し、これを高度な栄養指導に発展させ、生命と健康、食の安全に係る分野で活躍できる人材を育成し、国民が生涯にわたり健康的で明るく、活力ある生活が送れる社会づくりに貢献していきます。

本シンポジウムは、東洋大学LiFE研究会との共催であり、産官学連携の推進はもとより、教育関係者、高等学校生徒、さらには在学生があらためて「食」の重要性を考える機会となることを期待しています。皆様のご来聴をお待ちしています。

シンポジウム講演タイトルと要旨

健康とミネラル

食環境科学部 健康栄養学科 教授 西牟田 守

必須ミネラルは体内で偏在しており、生理的存在部位でミネラルを分類することができる。細胞外液より細胞内の濃度が高い必須ミネラルを細胞内ミネラル、逆に、細胞内より細胞外液の濃度が高い必須ミネラルを細胞外ミネラルと呼ぶ。細胞内ミネラルは K, Mg, P, Fe, Fe、細胞外ミネラルは Na, Cl, Ca である。骨を構成し、骨が貯蔵庫であるミネラルを骨ミネラルと呼ぶ。骨ミネラルは、細胞内ミネラルのうち Mg, P, Zn、細胞外ミネラルのうち Na, Ca である。

このように考えると、細胞外ミネラルが細胞内で増加することや、細胞外で細胞内ミネラルが増加することは、生理的状態を逸脱していると考えられる。

邪魔な海藻を健康素材に…産官学コラボによる食品開発

食環境科学部 食環境科学科 准教授 太田 昌子

神奈川県水産技術センター、平塚市、製麺会社（株）麻生）と私、そして学生3名にて、海藻がナトリウム（塩分）を排出する機能を持つことに着目し、粉末にした海藻2種を混ぜた減塩効果が期待される「花まつも麺」を開発した経緯を紹介する。利用した海藻はアカモクとワカメの茎。アカモクは関東地方ではほとんど食用として利用されず、成長すると漁船のスクリューにからんだりするため「邪魔モク」と呼ぶ地域もある。ワカメの茎も硬いため利用価値はほとんどない。これらの海藻の持つ機能を食品に生かすと、塩分を多く含むラーメンの麺に海藻を添加することを考えた事例を参考に、産官学連携を行う秘訣について述べる。

東洋大学LiFE研究会パネル展

東洋大学板倉キャンパスでは、生命科学部・食環境科学部の専門領域である「いのち（Life）」「食（Food）」「環境（Environment）」を基礎として、群馬県内で活動する企業、農業者、また、研究機関や行政等の研究支援機関などが共同で研究や開発を行い、産官学連携ネットワークを構築することを目的とする「東洋大学LiFE研究会」の活動を展開しております。

この度、東洋大学LiFE研究会では会員企業・団体等の活動や製品などの紹介を通して、様々な分野における産官学連携活動の契機となることを期待して「東洋大学LiFE研究会パネル展」を開催することとしました。当日は会員企業・団体等の活動内容をパネルで紹介するとともに、製品の展示なども予定しております。

多くの方にご参加いただき、会員企業・団体等の活動内容や製品を知るきっかけとなることを願っております。